

磐城時報

福島縣石城郡平町新屋町十四番地
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
電話 一四〇
廣告料 一月十元 三月廿五元 半年五十元 一年九十元
訂費 一月二元 三月五元 半年十元 一年十八元
代售處 各郵便局
日刊 (日曜、祭日) 休刊

小田吉治氏の厚意に 鈴木一家感泣す

世間の人々によるしく 鈴木氏病床で合掌

平町立町履物師鈴木作治一家八事として瀧池二ヶ所を工事中名の悲惨な遭遇を本紙が報導す。既に大抵の掘削を終了したが、や好間村小田村小田吉治氏は十日朝稀有の酷寒で地泥が凍結非常に同情し十四日朝本社を訪れ、工事中の余儀なきに至り折れ白米三俵、醤油二升、味噌三升、角仕事に有り付いた失業者三十貫、塩引二本の恵賜方を申し余名は再び失職同様となり寒空出でた事昨報の如くであるが、を見上げて怨んでゐる、尙此の様な嚴寒が持續する時は今後の作業は大部分がコンクリート工事なので當分就業は覺束なく従つて豫定より竣工が遅れる様子の折現現象とされてゐる。

新年松のうちから 平職紹介大繁昌

職を求める者殺倒す

正月気分が未だ失せ切らない。今平町職業紹介所に食を求めに集まり来る哀な失業者達が押寄せ此處ばかりは新春気分が微塵も認められず行詰まつた不況が尙は一層深刻になるものと思はれる程で、御用始めから毎日かさず押かけて職に有付かんとして居る、同紹介所の昨年統計に現れた紹介数を見ると左の如くである。

土木男	二八五	四三四	二五二
女	四	三	三
農業男	一〇	六七	四
女	一〇	二四	四
中	一〇	八六	四
下	一〇	二五	四
男	八五	一一五	四
女	一四	二五	四
雑役男	九七	一一五	四
女	一三	二五	四
合計	九七	一一五	四

尚ほ求職者の學歴は高等小學校卒業者が最も多く無學の者は男五十九人、女十六人であつた。

五萬人労働者が 現在では一萬に減少

年々廢坑或ひは縮小される 常磐地方の炭礦

好況時代には五萬を數へられた十九萬九千五百六十四貫、この石城地方の炭礦労働者も長期的金額四十二萬四千三百四十四貫で不況に禍されて數度の縮小、廢坑あつた、昭和四年同期の成績に坑に出遭つた結果現在では一萬對比するに寒流強く、一般に天の威に堪へない程だが、假りに魚漁が不漁であつた結果數量で一月十日現在による平署管内炭二十七萬三千九百七十六貫、金行爲が古物商違反に抵觸するた礦労働者調査によると男七千四百六十二名、女五千五百七十八名合計九千四百四十名であるが、更にこれを警城、入山、古河の三大炭礦別に見ると左の如くである

警城(男)	三千六百七十四名
入山(男)	七百七十五名
古河(男)	千四百八十四名
女	九十四名
合計	五千六百六十二名

平町字南町カフエー喜樂方女給(二)は此程突然妻を喪つたので捜索中であつたが、十二日郡山市尾田丸山旅館(瀧内平治方雇運轉手小林善吾)座の十八番左の如くである

濱三郡漁獲高

濱三郡に於ける昨年同期(八月二五)女は同人妻なみ(二〇)と(二)が十二日午後四時頃トラ(二)に鮮魚二百余貫を積載し同郡泉村字瀧尻地内縣道を疾走中前方から来た乗合自動車左側

カフエー喜樂の女給 駈落して捕はる

平町字南町カフエー喜樂方女給(二)は此程突然妻を喪つたので捜索中であつたが、十二日郡山市尾田丸山旅館(瀧内平治方雇運轉手小林善吾)座の十八番左の如くである

白水村で衝突

石城郡江名町の作自動車營業(瀧内平治方雇運轉手小林善吾)座の十八番左の如くである

何ぞ佐次郎を さうさせたか?

常磐線湯本驛から西は一里余、三井財閥を背景として三井湯本鐵業所がある。此の炭坑地内に全盛時代うごめき開業して労働者相手に一生懸命に働いた甲斐あつた幾何かの金を貯へ今は雜貨商を営み資金も相當に貸家もあつて、その地方ではうごめき屋と言へば金のある家だと思はれる迄に、資産を作つた。草野義春は、親子三人で石城郡警崎村に生活をして居つた。

衆樂館の 一日目藝題

平町衆樂館に於ける歌舞伎名題大谷紫好外數十名の大一座は十日

新年雑詠

根本橋月
あけ渡る鎮守の森の白雪に
初日ははえて鳩の飛び交ふ
門毎に松飾られてなんどなく
春めきにけり小き山村

自動車と馬車

四日から華々しく開演したが初日大入満員で木戸締切りの盛況を呈した、二日目出しものは一番目 天下桔梗の旗上全通 中幕上 傾城阿波鳴門ドンドロ 中幕下 壇浦兜軍 大切 京人形

居宅間口六間半

居宅間口六間半、瓦葺平屋で同家裏西北隅の炊事場の壁を高二尺一寸、中一尺五寸位切破つて其處から忍込んだらしむ。座敷に押し入る前に障子を締め切つて中の様子を窺ひ家人の寝静つたのを待受けて奥六疊の間に侵入したものは東枕に子供を中に就眠して居る主人義春は頭頂部に一ヶ所左腕上腕部に三ヶ所、右肩脚部に一ヶ所、右腋下に一ヶ所、左腕部に一ヶ所、妻は右手関節部は人事不省に陥つて呻つて居る。直に醫師の手當を受けた。

相馬支局通信

▲在郷軍人總會 相馬 郡太田村在郷軍人分會ではこの程同村小學校内に總會を開き役員選舉の結果分會長に杉内渡氏當選した。

▲村社に昇格 相馬郡 上真野村原鎮座山神社は今回村社に列せられ十三日縣報にて公布された。

▲相馬町村長會 相馬 郡内町村長會議は十七日中村元郡役所内に開催。

▲青年團旗調製 相馬 郡聯合青年團では令旨奉戴記念事業として團旗を調製すべくこの程中村第一校に各町村青年團長會に於て決議した。

▲消防組頭會議 相馬 郡中村署管内消防組頭會議は十四日同署樓上に開催した。

▲かるた大會 中村町 日露會主催のかるた大會は十七日午後五時からニコノ旅館に開催。

▲相北町村長會 相馬 郡北郡町村長會は十五日中村町農會事務所を開き野馬追祭祭典費補助金につき協議した。

●讀者 (投書歓迎) 一行十三字詰 卅行以上五十行迄

●旅道日當 道破居士 政府は官吏の旅費、日當の給與減を實行された、今日の世相において當然然るべきであると思ふのである、殊に土木所の旅費、日當はあまり

時代關心を無視したものである事は知るものをして呪詛の聲を放たしむるのである。

直營工事の名の下に工事費が變通自在、一種の慰勞工事或は役徳の暗示であり得ることは疑走入札における談合金と類似性罪惡であることを申し上げるに躊躇しないのであります、私は當局が更に筆頭一步を進め、旅費支給制に改められるやうあはせて官吏諸君が本給以外日當といふ黄金時代の變態的發給を御遠慮下さる位の自覺を望むのであります。

●理髮試驗制反對 反對生

理髮試驗制度はおれは絶対反對だ、大体人間が人間を試験するなんて事が間違ひだと思ふ、きつと技術や衛生の方を試験するのだらうが、そんな事は余計なことだ、従業員は主人又は理髮學校でそれを日々まなんであるのだ、その上技術はお客さんが一番たしかに試験をしてくれるし、衛生は當局の取締があるのだ。

君はい、型の洋服を求められたね。誰だね？ いや君コレは四丁目マルトモビル停車場で販賣中のソレ正札堂さ。



ルビモトルマ目丁四 堂札正

Advertisement for '毒梅' (Doku-Ume) medicine, listing various ailments like cholera and typhoid, and the '松村胃腸科' (Matsumura Gastroenterology) clinic.

の薬「チクノール」 平五 山野邊藥局

Advertisement for '二葉印刷所' (Futaba Shuppanjo), a printing shop located in Hirayama, with contact information.

Advertisement for '高級品と有名品に迷ふ勿れ!!!' (Don't get lost in high-class and famous goods!!!), featuring a hair salon and a clothing store.

Advertisement for '吉田眼科病院' (Yoshida Ophthalmology Hospital), located in Hirayama, with contact information.

Advertisement for '度量衡計量器' (Measuring Instruments) and '吸入酸素器' (Inhalation Oxygen Device), featuring '關内藥局' (Kannai Pharmacy).

Advertisement for '藤沼醫院' (Fujiyama Hospital), listing various medical services like internal medicine and pediatrics, with contact information.

Advertisement for '文化暖爐' (Culture Stove), highlighting its safety and efficiency, with a list of authorized dealers.

Advertisement for 'ストロップ' (Stove) and 'ストロップを御選定下さい' (Please select your Stove), featuring a large illustration of the stove and contact information for '阿部石炭商店' (Abe Coal Store).